

白光神像

白光神は、雪と山、特にヒマラヤに関連するインド起源の神である。この白光神像は、純潔さと冠雪の峰のイメージを呼び覚ますようにほぼ全体が白く塗られている。白光神は高山寺の主要な守護神の一つとして祀られた。

この像は鎌倉時代(1185~1333 年)に作られ、日本の有名な仏師である湛慶(1173~1256 年)の作品と伝えられている。